

代表取締役就任のご挨拶と 新年度のはじまりにあたって

代表取締役 宮崎 正

本年4月1日付けで、学校法人北里研究所の関連会社である北里ライフサービス株式会社(KLS)の代表取締役に就任させていただくことになりました。

筆頭株主である学校法人 北里研究所からこれまで多くの方々が役員等に継続して出向しています。私は2011年6月から取締役(非常勤)に就任し、2年9ヶ月間の役員をしてきましたが、今後は、これまでの役員経験を踏まえ、また、自身の職務経験を最大限発揮し、より一層当社の更なる発展・成長に微力ではありますが寄与してまいりたいと思います。

3年間に渡る前任の関根代表取締役を中心に様々な企画・実行を培ってきた会社運営のバトンを継承し、自身の役割の重大さと責任の重さを感じつつ、関係各位のご協力とご理解を得つつ取り組む所存でございます。

さて、当社は1978年9月に(株)サービス代行として設立し、現在36年目に入り、現在の北里ライフサービス(株)に改称して、丸10年が経過しました。現在、総売上高(年商)は約20億円であり、また従業員数は500名超の企業へと発展してまいりました。

当社の理念、『“自由な発想”と“何(誰)でもチャレンジ”の精神』を掲げ、北里研究所の大学・病院の事業活動をきめ細かくサポートし、日々の充実と発展に貢献します。豊富で質の高いサービスの提供を通じ、「ライフサービスに任せて良かった」と喜んでいただくことが、私たちの最大のミッションと目標です。一方、北里大

学における建学の精神は『開拓・報恩・叡智と実践・不撓不屈』であり、両者相通するものが理念・精神とされています。これまで取り組んできた様々な事業をより一層発展・飛躍していくために、より良い職場環境を構築しつつ全社一丸となって展開してまいりたいと思います。

より質の高い仕事・良い職場環境の実現に向けては、自分の本気と皆の本気が一緒になって行動することの必要性から、昨年度は『本気になろう、本気にさせろ!!』をテーマに掲げ、本気になればできる、一人ひとりの本気が他の人の心に本気の火を点けるという『本気度』を示す年でありました。新年度 平成26年度の始まりにあたっては、『心』を重視した全社目標をテーマにしました。これらは、社員皆が持っている気持ちや心を視点に、事業の継続・発展に貢献していこうという行動に繋がるものと信じています。

就任にあたってのご挨拶と抱負などを述べさせていただきました。企業感覚などまだまだ未経験・不慣れなこともあります。皆様にご迷惑をおかけしないようご期待に沿えるよう努力し挑戦してまいります。社員皆様のご理解・ご協力と学校法人 北里研究所ならびに株主様等関係各位のご支援・ご指導を今後ともよろしくお願い申し上げます。



Illustration: K.Ishiwata

平成26年度 全社目標

全社基本方針

北里ライフサービスは、学校法人北里研究所の関連会社として、北里研究所の目指す、教育・研究・医療の更なる向上・推進をきめ細かくサポートする。北里研究所の高等教育・医療機関としての、よりよい人材の輩出、高度・安全医療の推進等における、教育・医療環境整

備に努め、教育・医療関連会社に勤務する自信と誇りを持って、広く社会に貢献する。また、そこで働く我々は、各自が与えられた役割を自覚・認識し、お互いが尊重・協力しながら、元気で明るく、優しさを持った職場作りを実践する。

26年度の目標

社会が変化し、我々の仕事の環境も変化していく中でも、『心』のこもった仕事、『心』のこもった対応は、人に伝わるものです。平成26年度は、この『心』を一つのキーワードとして、3つの『かんしん』を目標にしました。言葉は簡単ですが、3つの『かんしん』は、どれも広い意味を含んでいます。毎日の業務を、3つの『かんしん』とつなげて考えてみましょう。

お客様が感服するくらい、各自が自覚と自信をもって立派な仕事が達成できるようチームワークを発揮する

感心
立派と思われる
出来栄え

各自が歡ぶ気持ち、嬉しいと思う心を持つことで、お客様にも肌で感じていただくことにより相互信頼に努める

歡心
常に歡びを感じる
姿勢

3つの『かんしん』

関心
興味・意欲を
持つ心

いつでも視野を広く持ちつつ、何事にも興味と疑問をもって、自身の能力向上と他者への関心・協力意識をもって仕事に取り組む

なお、各部門での目標については、全社の目標を基に、4月中に策定していきます。

一昨年度は、『Change』、昨年度は『本気』をキー

ワードにしてきましたが、『Change』・『本気』の主体は『心』です。3つの『かんしん』を意識して、一歩進んだ会社を目指しましょう。

接遇・応対の基本目標

北里ライフサービスの仕事は、人と係わることが多いことから、接遇や応対は、永遠のテーマです。

そこで、接遇・応対に関しては、前年度と同じ目標を設定することにします。

接遇・応対 基本方針事項

接遇とは人間関係づくりの基本です。人間関係づくりには5つの基本があります。

それは<①挨拶 ②表情(笑顔) ③身だしなみ ④態度 ⑤言葉づかい>です。

教育・医療機関で働く我々社員は、その自覚と責任をもって信頼と好感を持たれる応対をしましょう。

挨拶は人と人との潤滑油。職場を明るくする第一歩です。お互いの明るい挨拶が素晴らしい職場と人間関係を作ります。

北里ライフサービスの社員一同、毎日、これだけは、徹底・実践しましょう。

朝の挨拶

「おはようございます」

明るく元気よく声掛けを。
明るさと笑顔が
今日の1日を元気にします。

帰りの挨拶

「お先に失礼します」

1日の頑張りのご褒美です。
そして、明日への活力です。

職場の『オ・ア・シ・ス』

オ

「お願いします。おそれいます」

ア

「ありがとうございました」

シ

「失礼いたしました。少々おまち下さい」

ス

「すみませんでした」



学長室のメンバー

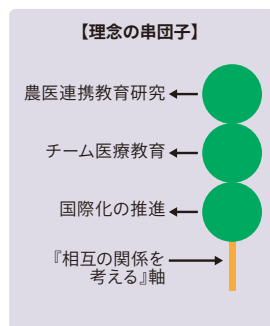
空から見下ろして描いた地図を鳥瞰図(ちょうかんず)という。ところが鳥瞰図を“とりあえず”と読んだ人がいる。『取り敢えず』の『敢(あ)』は『瞰』に似ている。それで鳥瞰図(とりあえず)と誤読したそうだ。しかし大所高所の『鳥瞰図』と目先の『とりあえず』では大きな違いである。

学長室はとかく誤解の多い部署である。学長先生の『居室』と思って尋ねて来る人は少なくない。昨年4月に国際部と農医連携教育研究センターの事務室を兼務し、状況は更に複雑化した。従来の大学点検・評価室を含めると4部署混合となり、室長を除くスタッフは4人なので、一人一部署である。高い女子力に支えられているとはいえ正直しんどい。事務の合理化のため“とりあえず”兼務せざるを得ないのが実情だが、それでは物悲しい。兼務であっても何らかの意義を見出し、仕事の関連性は踏まえたい。“鳥瞰図”である。

そこで国際化を考える。北里柴三郎はオランダ人医師マンズフェルトの指導を受け医学を志し、ドイツではローベルト・コッホに師事し飛躍を遂げた。北里の『原点』は国際交流にある。翻って今グローバル世界で必要なのは、異なる人種、民族、宗教、文化、文明に属す人々が“相互の関係を考えていくこと”である。更に言えば“相互の関係を考える”とは、本学が特色とする次の2つの取組みの『本質』でもある。

ひとつは農医連携教育研究。農医連携とは農学と医学が『相互の関係』を考えて新しさを創造開発する。もうひとつはチーム医療教育。多種多様な医療職種が『相互の関係』を考える、あるいは学生に考えさせる。それによってより安全で質の高い医療を目指す。

一見ばらばらに見える、農医連携教育研究、チーム医療教育、国際化も『相互の関係を考える』という理念(軸)で串団子のように一気通貫する。異質な分野の融合を大事とした学祖の信念にも一致する。このように“とりあえず”の兼務も、努めて“鳥瞰”し、前向きに捉え



るようにしている。

全くの余談だが、哲学の世界で近代化を批判したポストモダン(近代の次)

は“相対化”したことに意味がある。上述の考え方も農と医、個と個、国の内外という意味で相対化である。ポストモダンの潮流も終焉に向かっている。その次は何だろうか。藤井清孝理事長の提唱する“全体最適”もその一つかもしれない。

新部署でもう一つ大事なことは、“Early small success”ということ。新部署の猶予(モラトリアム)は発足から3カ月程度。この期間に小さくていいからできるだけ早く成功事例を作らないといけな。間延びするほど部署の期待感は薄れ、当事者のモチベーションは下がる。

その意味で昨年6月の農医連携シンポジウムは試金石だった。全員が未経験でノウハウがなく、準備も遅れていた。切羽詰って北里ライフサービス社に駆け込み相談した。結果、同社の手厚く親身なサポートにより無事終えることができた。後日聞くと、関根茂社長は私の依頼を意気に感じ、社員の方々に「平野が困って相談に来た。しっかり手伝ってやろう。」と発破をかけたそうだ。その心意気は大変有り難く、嬉しく思った。

過日、関根さんから本稿の執筆依頼を受けた。正直ご遠慮したかった。当部署は上述した通り、公開できる状況には今ないからである。しかしすぐに次の言葉をもらい、私も又、意気に感じた。「俺にとって最後の号になる。平野さんに書いてもらいたい」。

最後に、当部署と同社との『相互の関係』を考えると、やはり、仕事を通して互いに意気に感じる間柄でありたいし、“北里を良くする”という軸を共有して、串団子のような緊密な関係でありたい。

学長室 室長 平野崇雄

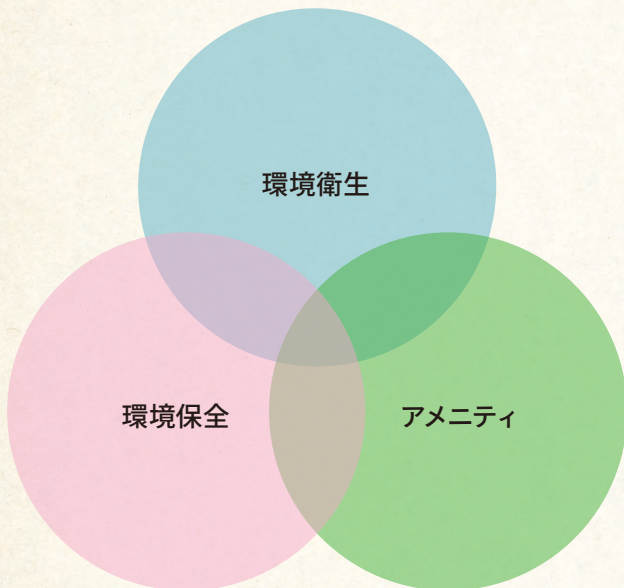


病院環境衛生業務の重要性

—環境整備課の業務を中心に—

大学病院事務部 環境整備課 課長 座間弘和

病院の環境衛生管理業務を大別すると『環境衛生・アメニティ・環境保全』の三つに分類されます。



■環境衛生

環境感染対策が中心となり人の健康を阻害する要因を取り除くこと、つまり病原性微生物を取り除くことが主になります。(清掃、消毒など)

■アメニティ

療養環境の整備が基本となります。(清掃、ベッド、リネンなど)

■環境保全

病院の診療活動に伴って排出される廃棄物の適正処理と環境負荷の低減が基本となります。(廃棄物収集・運搬、資源化)

これら三つの業務は、それぞれが単独なものではなく相互に関連しあうものです。それ故、環境衛生業務は複合的かつ合理的な対応が必要になります。環境

整備課の業務は、それを効率的でより効果的に推進し安全・安心かつ快適な空間作りが求められており、この業務を直接実施担当して頂いているのが北里ライフサービス株式会社の皆様です。いわば病院の環境衛生業務の中心的存在といっても過言ではありません。

日常清掃は、院内感染防止対策の基本です。病棟、外来など直接患者さんが触れる場所の見た目も大切ですがそれ以上の清潔さが求められています。

現在、新病院の開院にあわせて、病院清掃受託責任者の足立さんを中心に進められている、清掃クルーのレベルアップを目的としたビデオマニュアルや新しい清掃資機材の導入には、大変感謝しています。

施設を管理する立場からいうと、委託業者様(北里ライフサービス株式会社)と共に環境整備課が協働することにより最大のメリットが得られることだと考えます。

特に病院の求める品質基準を清掃ラウンド(清掃の品質チェック)へ活かそうという試みも始めています。これは、医療スタッフと清掃スタッフのコミュニケーション促進にもつながる試みです。

現在の課題は点検すべき項目の見極めとその判定基準作りで、特に誰が点検してもぶれにくい、客観的指標ができないものかと模索中です。新病院では是非この評価表により点検と改善を実施したいと考えています。

また、ベッドセンター業務やメッセージ業務も最初に示した図の中心をカバーする大切な業務です。それぞれの担当職員一人一人の力が大変なパワーとなって発揮されてこそ業務がうまく回っていくことだと思います。

新病院開院に向け安全な医療環境の実現には、これまで述べてきたように関係者との「協働」を通じて新しい知識を取り入れ、現実的な策に練り上げ、広く情報を共有する工夫が鍵になります。今後は、十分に吟味した業務計画を、いかに確実に実行できるかを念頭に教育プログラムも見直す予定です。

適切な計画作りと点検・改善、そして教育と、病院環境衛生の分野はまだまだ取り組むべき課題が山積しています。

今後とも清潔で安全な病院環境衛生維持にご協力をお願い申し上げます。

STATIONERY

新入生を応援します!



新学期にあたり、ライフショップでは新入生を迎える準備も万全です! 白衣などの実習用品をはじめ、授業で必要となる用品を多数取り揃えています。

また、いつでも文具は20%引き、書籍・雑誌は5%引きにて販売。雑誌は定期購読も随時受付けておりますので、毎月雑誌をご購読の方はぜひライフショップにて定期購読をお申込み下さい。



ANNOUNCEMENT

表示価格変更のお知らせ



4月1日より消費税率変更のため、価格表示を『税抜き価格』へと変更させていただきます。

1本からお作りします
三菱 ジェットストリーム
名入れキャンペーン実施中

三菱 ジェットストリーム4&1、プレミアムをご購入いただいたお客様を対象に、通常324円(税込)の名入れ代を100円(税込)にておこなっています。ご自分のお名前をいれたオリジナルペン、記念品やノベルティとしてこの機会にぜひご利用ください。詳しくはショップスタッフにお問い合わせください。



キャンペーン期間:4月1日~4月30日
名入れ方法:レーザー彫刻
お渡し時間:およそ3週間程度

チョットしたアイデア・工夫が、仕事も職場も変わる!!

提案制度 第三期 受賞者の発表

平成24年からスタートした提案制度。平成25年の第三期(9月~12月)に提案をいただいた中から、次の3名が敢闘賞に決まり、去る2月26日に表彰状と副賞の授与が行われました。各提案は実施に向けて準備中です。



| | | | |
|-----------|----------|-----|--------------------------------------|
| 期間 敢闘賞 | 関根 茂 | 前社長 | 還暦祝い制度の創設 |
| | 井上浩次 部長 | 人材部 | Basic Life Support(一次救命処置)講習会の参加呼びかけ |
| | 関 恵美子 GL | 事務部 | 年内採用者の前職の源泉徴収票を採用時に集めること |

※第三期の最優秀賞、優秀賞の該当はありませんでした。

提案制度審査委員会

ライフアワード2013 Report

平成26年3月14日(金)18:00~

スマイル大賞
表彰

『ライフアワード2013』を開催しました。
今年もたくさんの社員が集まり、
楽しいひと時を過ごし、親睦を深めました。
フォトレポートをお楽しみください！



永年勤続者
表彰



提案制度
年間賞表彰



| | |
|-------------|-----------------------------|
| 18:00-18:10 | 開会挨拶 乾杯 |
| 18:20-18:40 | 各表彰式 永年勤続・スマイル大賞・健康制度年間賞 |
| 18:40-19:00 | 〇×クイズ |
| 19:00-19:10 | ご歓談 |
| 19:10-19:30 | じゃんけん大会 |
| 19:30-19:55 | 豪華福引大会 |
| 20:00- | 閉会挨拶 |

平成25年度 永年勤続者表彰

対象者は、20年勤続が4名、10年勤続が19名と、総勢23名の方々になりました。
みなさんに会場の前に集っていただくと、やはり壮観です。
長きに渡り、北里ライフサービスに貢献をしていただき、誠にありがとうございます。
代表して20年勤続から児玉博美 部長、10年勤続から岩瀬光子主任に、
ひと言ご挨拶をいただきました。



永年勤続者
表彰



勤続 20年

児玉博美 環境施設部 部長
星 哲也 環境施設部 環境一課
升田 美津子 環境施設部 環境一課
石井 きみ子 環境施設部 環境二課

勤続 10年

田村明夫 営業部 寮管理
篠崎 博 環境施設部 環境一課 GL
島野 昇 環境施設部 環境一課 GL
我妻 由美子 環境施設部 環境一課
伊藤 久美子 環境施設部 環境一課
斉藤静子 環境施設部 環境一課
志村 充 環境施設部 環境一課
外池 弘子 環境施設部 環境一課
田中 美佐代 環境施設部 環境一課
中嶋 哲子 環境施設部 環境一課
幸 直子 環境施設部 環境一課
岩瀬光子 環境施設部 環境二課 主任
松原 美由起 環境施設部 環境二課 GL
久保田 千恵子 環境施設部 環境二課
永石房代 環境施設部 環境二課
渥美久子 環境施設部 環境三課
上総典子 環境施設部 環境三課
中村廣子 環境施設部 環境三課
野尻佳子 人材部 人材三課 GL



児玉博美 部長



岩瀬光子主任



平成25年 提案制度年間賞 受賞者



提案制度年間賞の優秀賞は、
福地智子さん。
また、敢闘賞には
2名が選ばれました。
引き続きそれぞれの職場で、
何か一工夫、アイデアを
出しあっていきましょう。

提案制度
年間賞表彰

年間賞

優秀賞

福地智子 人材部 人材一課課 GL

敢闘賞

秋山 すみ子 環境施設部 環境一課

阿部桃子 環境施設部 環境一課



福地智子さん



平成25年度 スマイル大賞 受賞者

スマイル大賞は、小山 こずえさん!
受賞された皆様、
今後もみんなのお手本になるよう、
より一層のスマイルをお願いします。

大賞

小山 こずえ 人材部 人材一課 GL

準大賞

岩瀬光子 環境施設部 環境二課 主任

阿部桃子 人材部 人材一課

松原 美由起 環境施設部 環境二課 GL

ナイススマイル賞

金田純子 営業部 主任

吉野 恵美子 環境施設部 環境一課

古木愛莉 人材部 人材二課

スマイル大賞
表彰



小山 こずえさん



仲間たちの日頃の頑張りや
業務の内容をご紹介します



高田消化器・内科クリニック

編集長 永山乃丸

今回ご紹介するのは、北里大学病院の中ではありません。今年の2月から、当社のお客様になっていただいた、大和市中中央林間にある、『高田消化器・内科クリニック』様です。

こちらのクリニックの院長 高田雅博先生は、北里大学のご出身で、たまたま受付の方をお探しになられた時に、当社へご連絡いただき、現在、結城あかねさんを派遣しています。

こちらには、無痛内視鏡検査が可能な設備がありますので、「胃の検査はしたいけど、内視鏡は苦手だなあ。」と思っている方は、おすすめします。

もちろん、内科一般の診察も行っておりますので、近辺の方、いかがでしょうか。中央林間駅から徒歩5分です。

写真の通り、真新しいとても綺麗なクリニックです。待合室も、過ごし易いですよ。



■高田消化器・内科クリニック <http://www.takadaclinic.jp/>

大学清掃

小玉 明 環境施設部 環境三課 課長

私達、環境三課は、相模原キャンパス内の一般教育部L1号館、L2号館、医療衛生学部A3号館、理学部S号館、海洋生命科学部MB号館と、大学の施設である総合体育館・部室棟の清掃を行っております。

男性19名、女性15名の明るい職場です。大学における教育・研究に、そして修学の、より良い環境作りに努めております。

毎日の作業の中で、信頼と好感を持たれる対応となるよう常に心がけ作業しています。

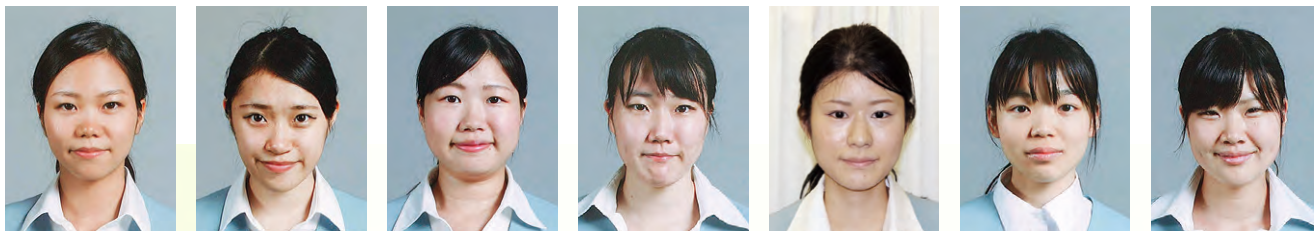
平成26年度も健康で明るい職場作りを目指し『綺麗な笑顔は、あなたの笑顔とやりや。あなたが作る明るい環境』をテーマに、スタッフ全員で頑張っていきます。



後列左から 富士山さん 小玉さん(筆者) 山室さん 青木さん 河野さん
前列左から 田中さん 小松さん 中村さん 井上さん

平成26年度 ～新卒者紹介と本人から一言～

今年は7名の新卒者が仲間入りします！
先輩諸氏はフレッシュな気持ちを思い出して、接してあげてください。



桐生 薫

出身：座間市
配属：内視鏡受付
趣味：スノーボード
「一日でも早く新しい環境に慣れ、毎日明るく元気に頑張ります」

四宮優衣

出身：相模原市
配属：泌尿器科外来
趣味：音楽を聞く事(韓国が好きです)
「初めての事が多く、ご迷惑をおかけしてしまっていますが、元気に業務をこなしていきたいです。よろしく願っています」

田中美咲

出身：相模原市
配属：耳鼻科外来
趣味：音楽鑑賞、サッカー観戦
「10月から耳鼻科外来でお世話になっております。まだまだ未熟者ではありますが、一つひとつ正確に作業をし、覚えていきますので、ご迷惑をおかけしますが、よろしく願っています」

土田梨紗

出身：相模原市
配属：北里研究所病院 予防医学センター(出向)
趣味：音楽鑑賞
「知識を沢山得て、自分自身成長していけるよう頑張ります」

桃原卯月

出身：沖縄県那覇市
配属：放射線受付
趣味：お菓子作り
「常に向上心を持ち、何事にも前向きに取り組んでいきたいです」

八木愛美

出身：相模原市
配属：内科II外来
趣味：演劇鑑賞
「色々ご迷惑をおかけしますが、よろしくご指導お願いします」

渡邊 茜

出身：相模原市
配属：病棟クラーク(3Bセカンド)
趣味：お菓子作り
「いろいろな病棟で業務をしているので、病棟ごとの業務を完璧にして、一人前になれるよう頑張ります」



What do you do in your free time?

私の趣味

リコーダーのアンサンブル

中里清子 人材部人材一課

私は、この10年、リコーダーのアンサンブルを楽しんでいます。

リコーダーというと、小学校の音楽の授業を思い出す方が多いと思いますが、私の場合は、30年くらい続いているグループにご縁があり、テナーのリコーダーを担当しています。

私が参加しているグループは、ソプラノ、アルト、テナー、バスそれぞれ二人ずつ担当がいて、8人のアンサンブルです。ご指導いただいている先生が、曲を用意されるのですが、クラシックからアニメソングまで、幅広く、色々な

曲を演奏しています。

年に2~3回、ステージで演奏しますが、その他に、小学校に行って、三年生のお客様の前に演奏することもあります。そんな時は、滅多に見る事のないバスのリコーダーに小学生の興味が集中します。キーが付いているのが面白いようです。

練習は、月に2回くらいのペースで行います。最初の音合わせのときから、音色が心地よくて、

他のことは忘れてしまいます。この心地よさ、楽しさが、10年も続いた理由だと思います。

これからも、時間が許す限りは続けていきたいと思っています。



私の故郷、大阪で思い出すのは地元、南港と蓬葉の豚まんです。

大阪湾に浮かぶ人工島、南港は少し変わった街で、ポートタウンと呼ばれる居住エリアには許可の無い車両は進入禁止になっており、車はめったに走っていません。

街を通る電車ニュートラムは車のタイヤで走り、運転手のいない無人運転で運行され、24時間一年中ゴミを捨てる事が出来る『ダストシュート』など、

初めて来た人はビックリします。

もう一つの豚まんは、ふわふわの皮に豚肉と玉ねぎがたっぷり入ってボリューム満点で、カラシを付けて食べるのがとても美味しく、近所のスーパーに出店が来たら、必ず買って食べていました。今は実家に帰る＝豚まんが食べられると楽しみにし、神奈川に戻る時も自分用の土産に買っては、家でも食しています。

初めて関東のコンビニで肉まんを

買った時に、カラシが付いてないことがカルチャーショックでした。皆さんも大阪に来た際は、たっぷりカラシを付けて食べてみてください。



ちょっと知識 赤十字マークについて

赤十字マークは、戦争や紛争で傷ついた人々と、その人々を救護する軍の衛生部隊や、赤十字の救護員・施設等を保護するためのマークです。紛争地域等で赤十字マークを掲げている病院や救護員などには、絶対に攻撃を加えてはならないと国際法や国内法で厳格に定められています。つまり、赤十字マークは、いざという時にわれわれ国民一人ひとりを守るマークなのです。

赤十字マークは、創始者 アンリ・デュナンの出生国スイスに敬意を表するために、スイス国旗の配色、赤地に白い十字を反転

して、白地に赤い十字としたものです。

多くのイスラム教国は、「十字はキリスト教を連想させる」として、赤十字の代わりに赤新月を使用しています。使用に際しての条件、効力などは赤十字とまったく同一です。

また、2007年にジュネーブ条約の第3追加議定書が発効し、赤十字と赤新月に加えて、新たな標章が追加されました。新たな標章は、白地に赤いひし形を配したもの(レッドクリスタル)となっています。なお、各国の赤十字社を表すマークとして使用する場合には、レッドクリスタルの中にその国独自のマークを入れることもできます。

Information

事務部からのお知らせ



1 新取締役のご紹介

平成26年3月25日開催の臨時株主総会において、新任の取締役が決定しました。平成26年4月1日より、北里大学東病院 事務長 原田 毅 次長が、当社の取締役となりますので、お知らせします。任期は、平成27年6月までです。

2 消費税率改定に伴う交通費の変更について

先日、各部署に掲示いたしました。今回の消費税

率8%改定に伴い、公共交通機関の運賃が変更になっています。

この変更に関して、書類の提出は必要ありません。詳細は、各部署の掲示をご覧ください。

3 提案制度受付中

平成26年の提案、第一期(1月1日から4月30日まで)を受付中です。日々の作業で思いついた改善点や、効率を上げるための工夫など、是非お寄せください。年間賞を狙いましょう。

Life Smile 編集後記

平成26年度 春号をお届けします。2011年の夏に始まった、本誌『ライフスマイル』も、12号を数えました。様々な方に協力いただきながら発行を続けて参りました。この場をお借りして、ご協力いただいた皆様に、あたらめて御礼申し上げます。

さて、本年度より、宮崎社長の新体制となりますが、『ライフスマイル』は、引き続き発行して参ります。皆様の交流の一助となれば幸いです。次号もご期待下さい。

ライフスマイル編集長 永山乃丸